

おいでませ

あやかし亭

三

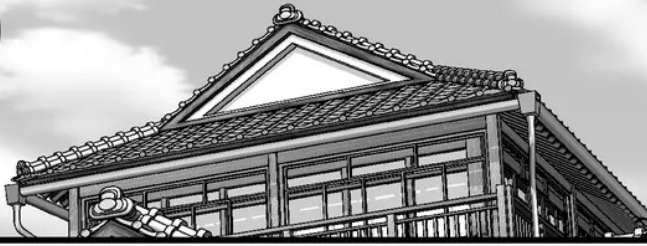
成人向

VIPなおじ様  
×  
ショタ仲居



はた  
はた  
はた...

ただいまー!



仲居・桂 かつら

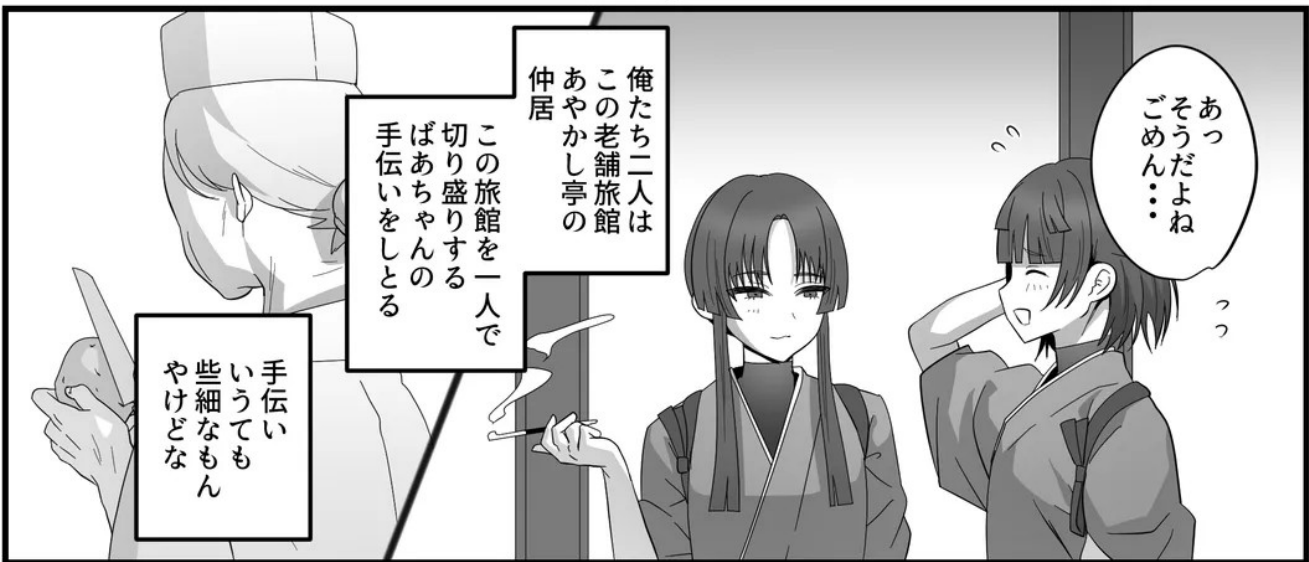
こたちゃん  
静かに  
しとつて  
もうすぐ  
お客様が  
見えはる



こたろう  
仲居・琥太郎

庭掃除  
終わったよ  
桂!

ばん

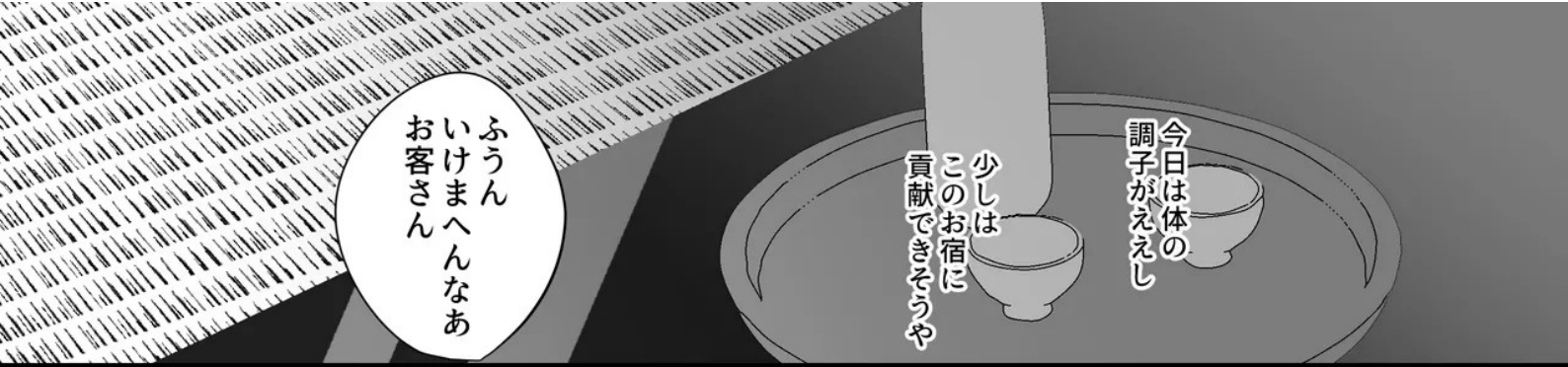


手伝い  
いうても  
些細なもん  
やけどな

俺たち二人は  
この老舗旅館  
あやかし亭の  
仲居  
この旅館を一人で  
切り盛りする  
ばあちゃんの  
手伝いをしとる

あつ  
そうだよね  
ごめん...





もう助平やな  
そんなにしたいん?  
ああ是非  
お願いしたいね

本当に素晴らしい宿だよ…  
!

それだけではない  
こんなにも可愛らしい子が  
接待してくれているのだから

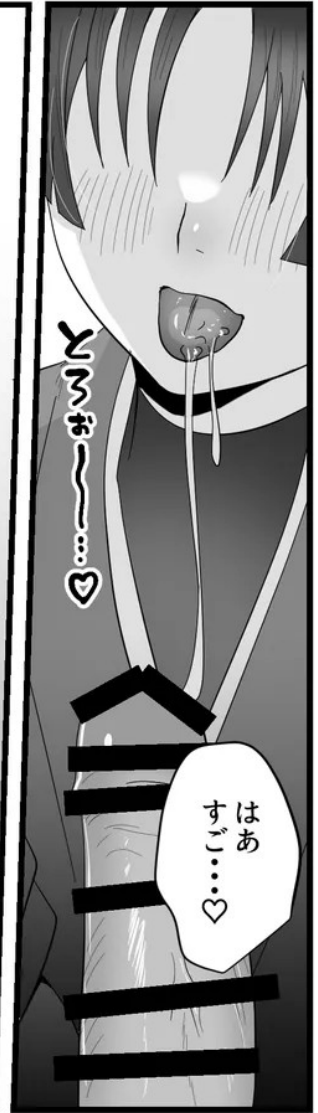
何やら突然胸が高鳴って…

君がこの部屋に入ってきてから…  
何か妖しい術にでも  
かかったように  
体が熱くなってるね

くちゅっ…  
くちゅっ

不思議なこともあるもんやな

あゅっ  
…へえ  
妖しい術ねえ



お客様のために  
よく解して  
おいたんよ？

精一杯  
おもてなしさせて  
くださいな…♡

そんなの  
見せつけ  
られたら  
疼いてしまう  
やないの…♡

ほら  
こころ♡

はあ  
すご…♡



カッカッ

ぐっっっっ♡  
搾りたのっっっ!!

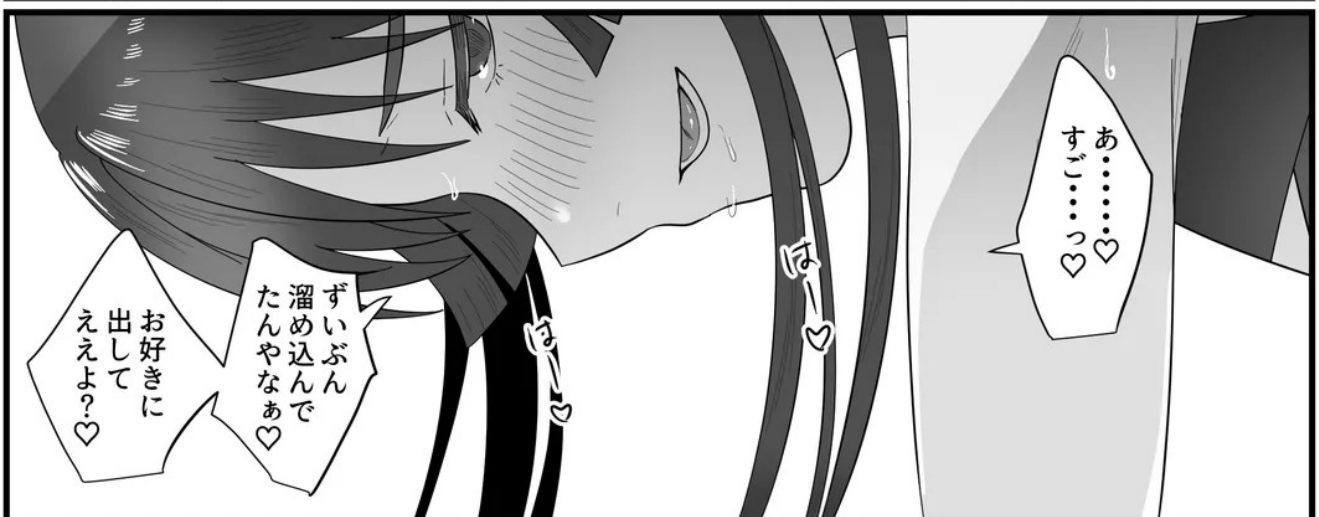
おっおっ

うおっっっ  
締まるっ!

みちみちと  
媚肉がっっっ  
絡みついてっっ♡

カッカッ!!

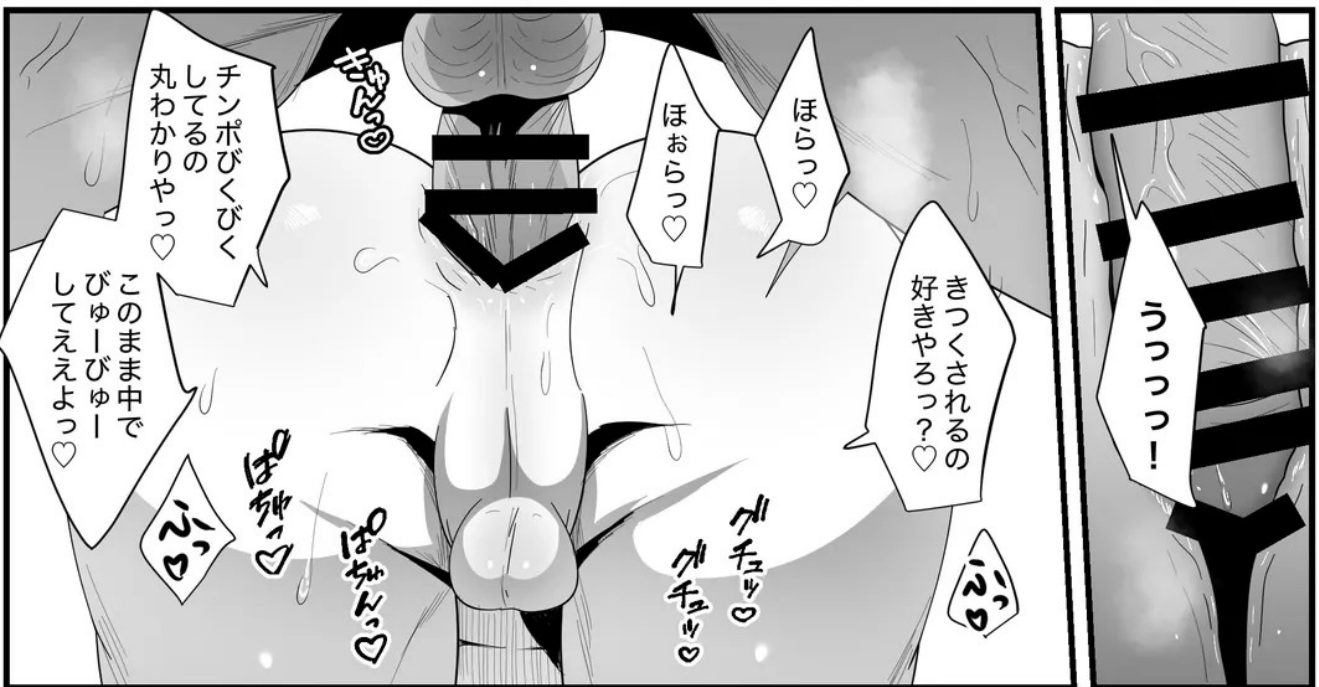
おっ  
っっ♡



あ……っ♡  
すっっっ♡

ずいぶん  
溜め込んで  
たんやなあ♡

お好きに  
出して  
ええよっ♡



きつくされるの  
好きやるっ♡

うっっっ!!

ほおっっ♡

ほおっっ♡

チンポびくびく  
してるの  
丸わかりやっ♡

このまま中で  
びゅーびゅー  
してええよっ♡

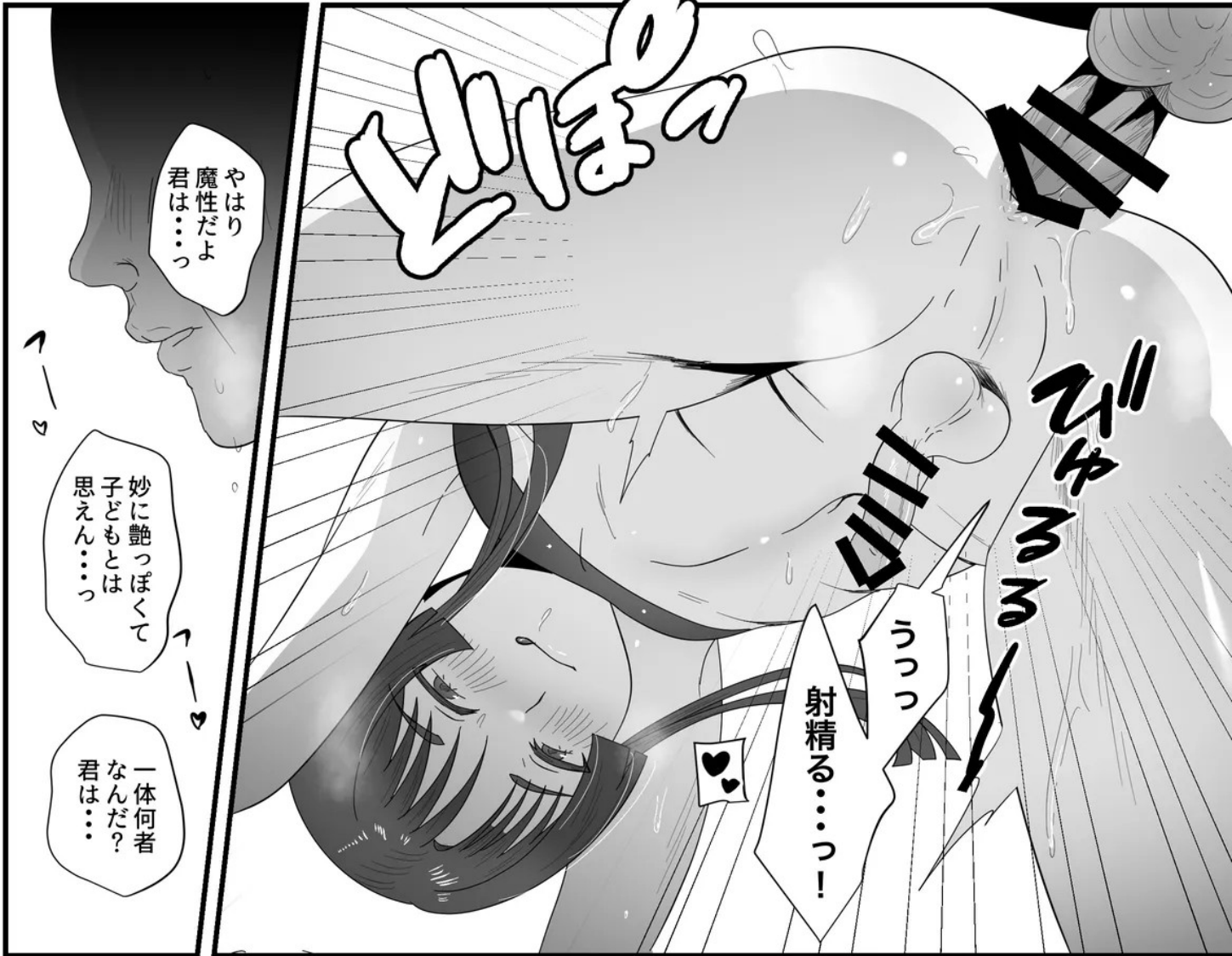
ハッ♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡

ハッ♡



やはり  
魔性だよ  
君は...っ

妙に艶っぽくて  
子どもとは思えん...っ

一体何者  
なんだ？  
君は...

射精る...っ!



...おめ

なんやろなあ



おかえり桂  
大丈夫？

……ん  
こたちゃん  
丁度ええわ



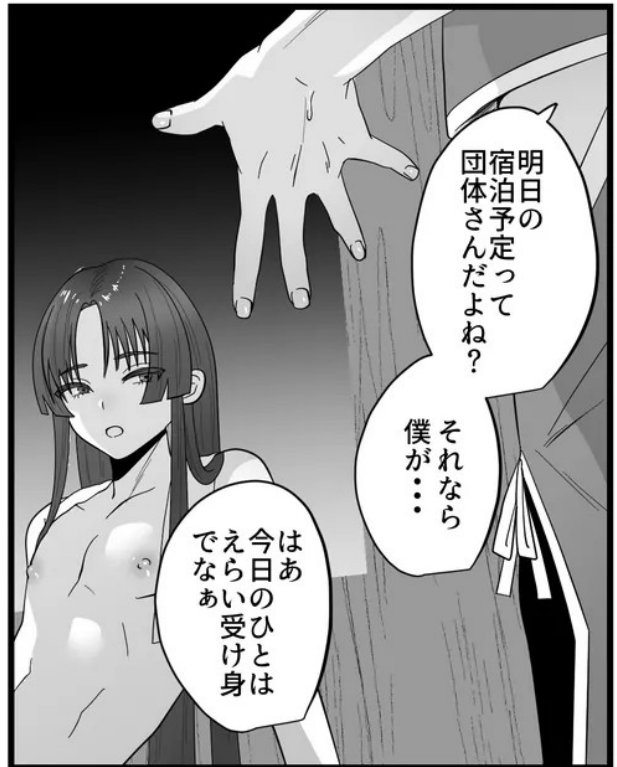
明日も俺に  
接客させて  
ほしいんやけど

え……？



俺ももうちよい  
頑張れそうやし

こっちはええから  
ばあちゃんの方  
あげて



明日の  
宿泊予定って  
団体さんだよな？

それなら  
僕が……

今はあ  
の日のひとは  
でない受け身



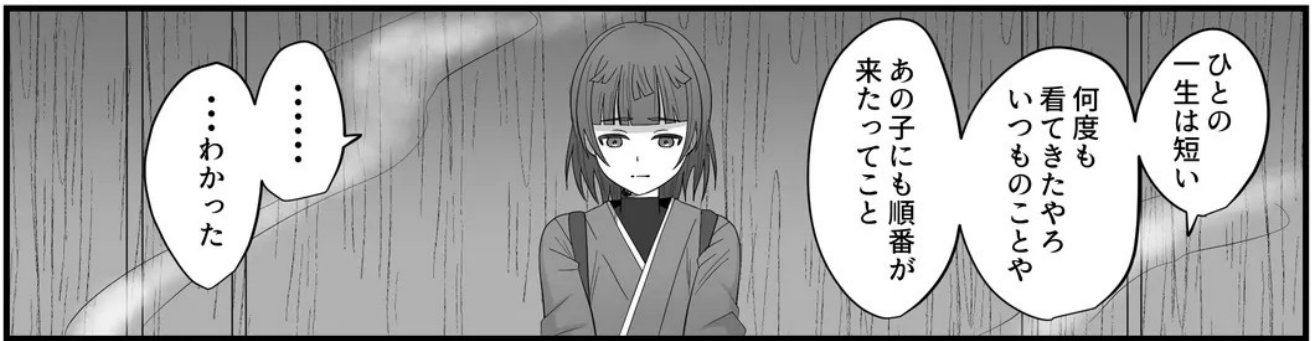
気付いてるやろ

あの子最近盛りがちなよ忘れがちなよ



でも……

琥太郎

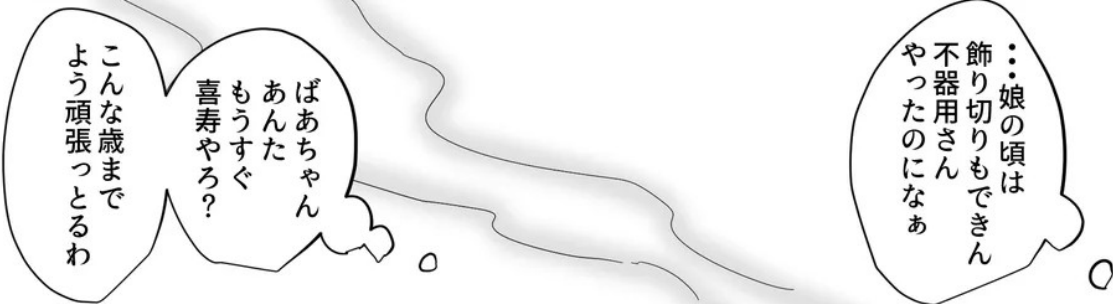


ひとの一生は短い

何度も見てきたやろいつものことや

あの子にも順番が来たってこと

……わかった



……娘の頃は飾り切りもできん不器用さんやったのになあ

ばあちゃんあんたもうすぐ喜寿やろ？

こんな歳までよう頑張るとるわ



でも……

そろそろ無理はせんといてほしいんやけどな



日々の衰えを恐れるのも

後継の料理人が見つからずに焦る気持ちもわかる

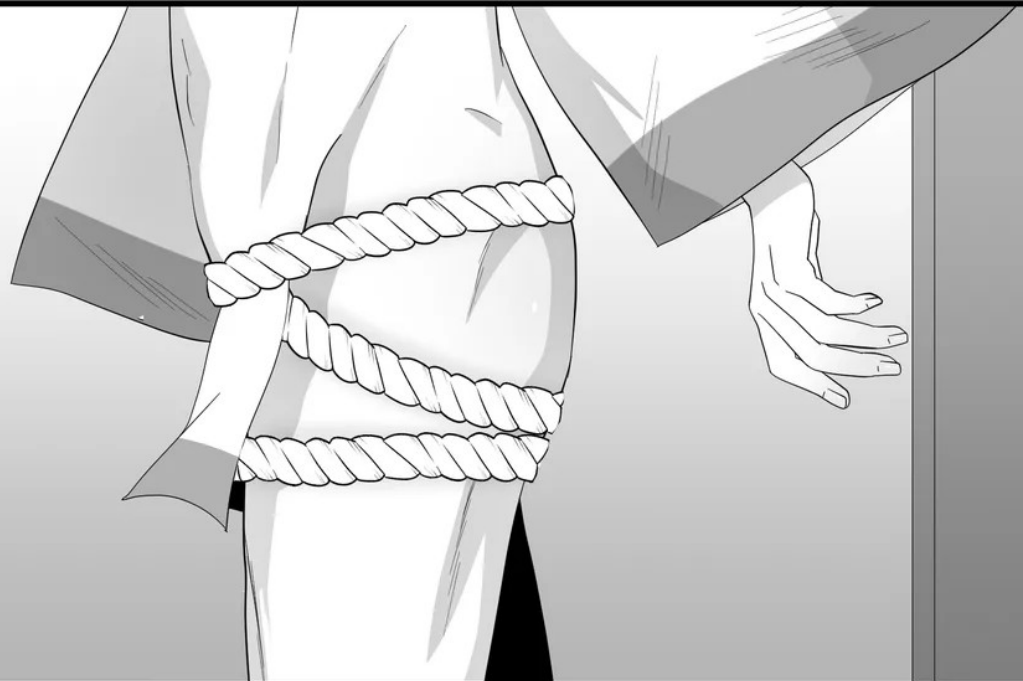
俺たちの  
やることは  
変わらない

この旅館が  
続く限り  
少しでも  
貢献するって

あの男に  
出会って  
決めたんや



…  
弥  
二  
郎

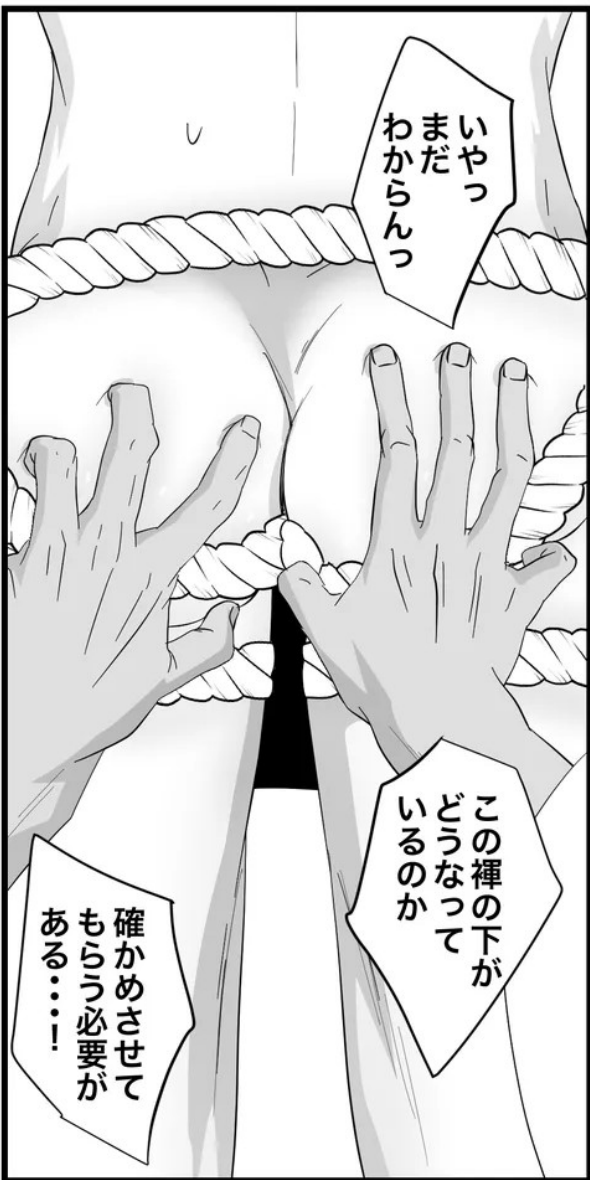




なんて  
いやらしい  
格好を……

男の趣味は  
なかったの  
だが……  
これは……  
さすがに……

うお……っ



いやっ  
まだ  
わからんっ

この禪の下が  
どうなっ  
ているのか

確かめさせて  
もらう必要が  
ある……!



……ん

仕事の時間や

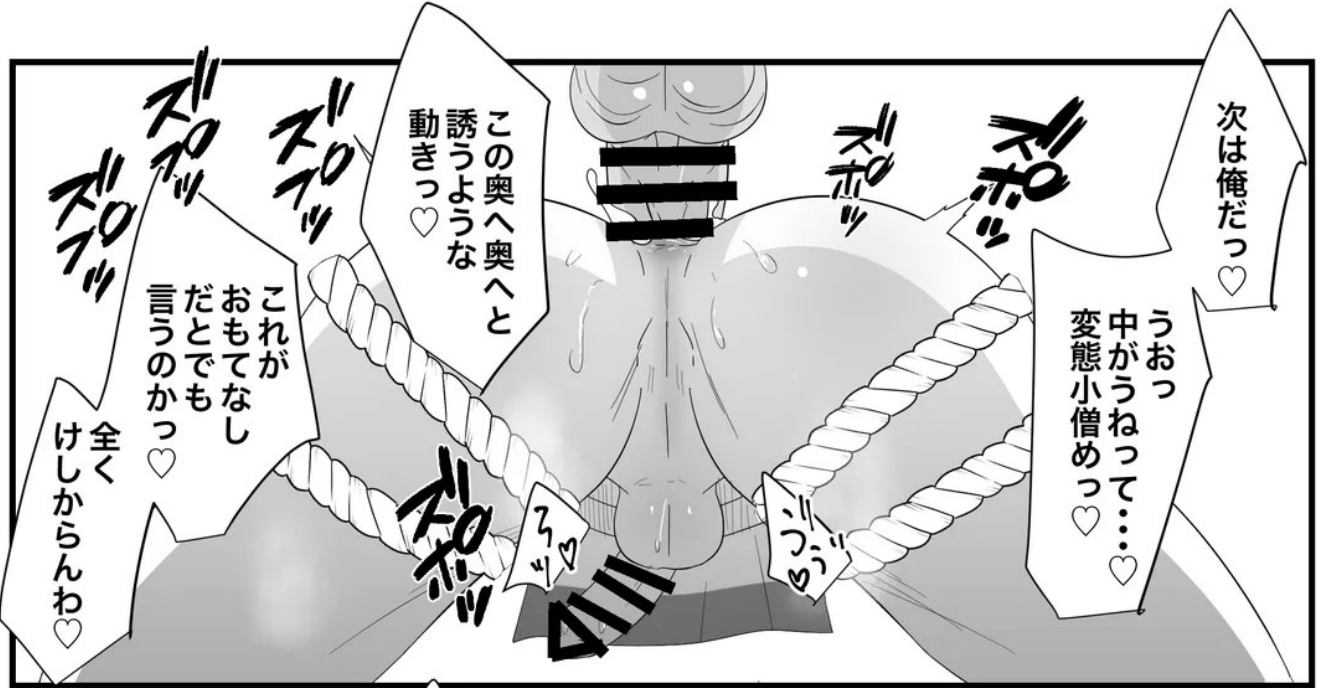
今夜の  
お相手させて  
いただきます  
桂と申します

ごゆるりと  
お楽しみな  
くださいな









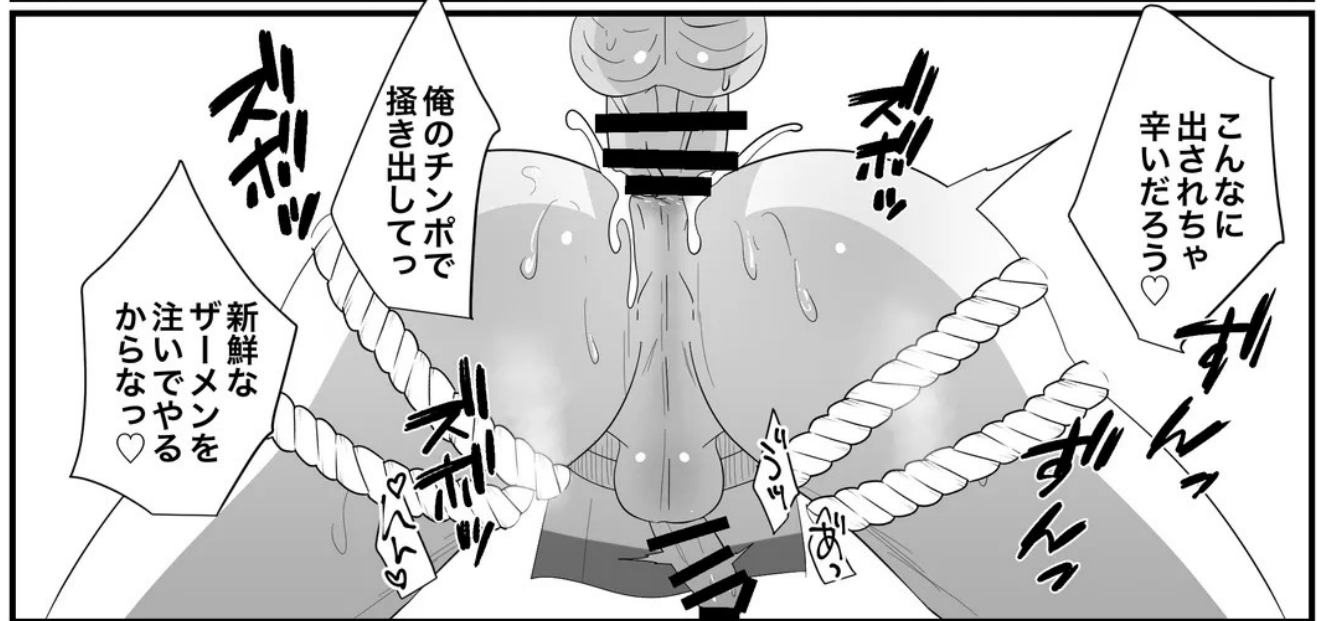
次は俺だっ♡

うおっ  
中がうねって…♡  
変態小僧めっ♡

この奥へ奥へと  
誘うような  
動きっ♡

これが  
おもてなし  
だとも  
言うのかっ♡

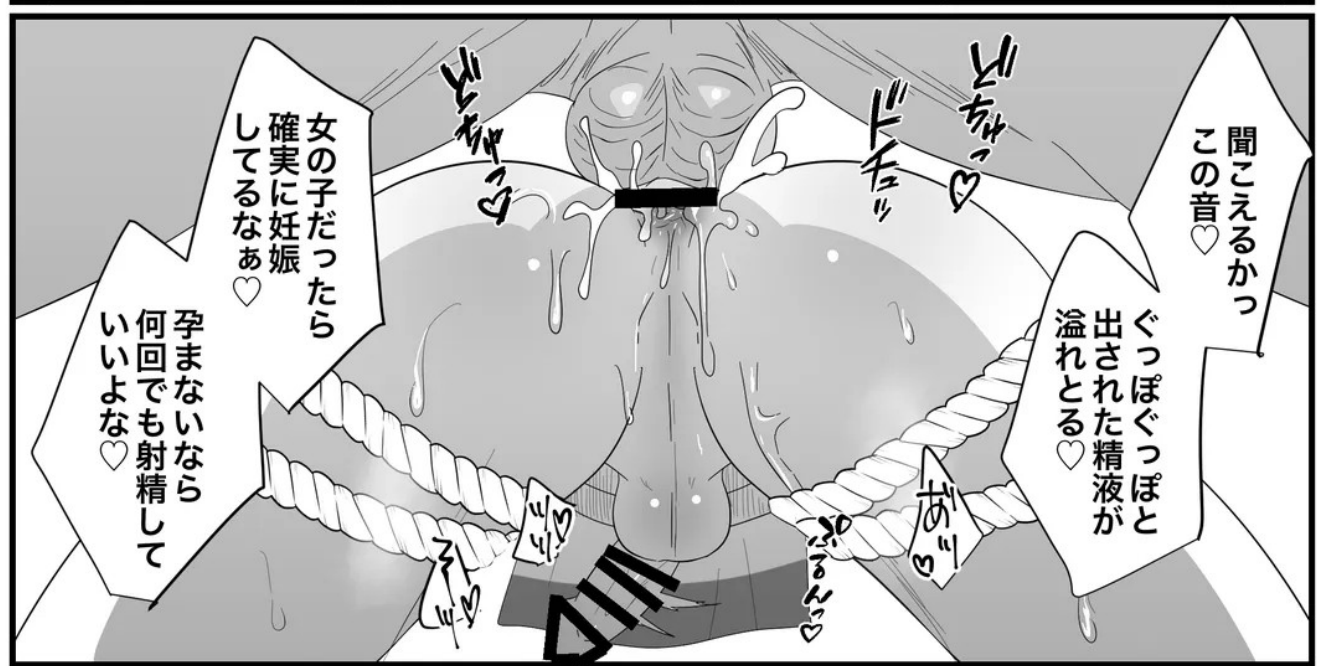
全く  
けしからんわ♡



こんなに  
出されちゃ  
辛いだろう♡

俺のチンポで  
掻き出してっ

新鮮な  
ザーメンを  
注いでやる  
からなっ♡

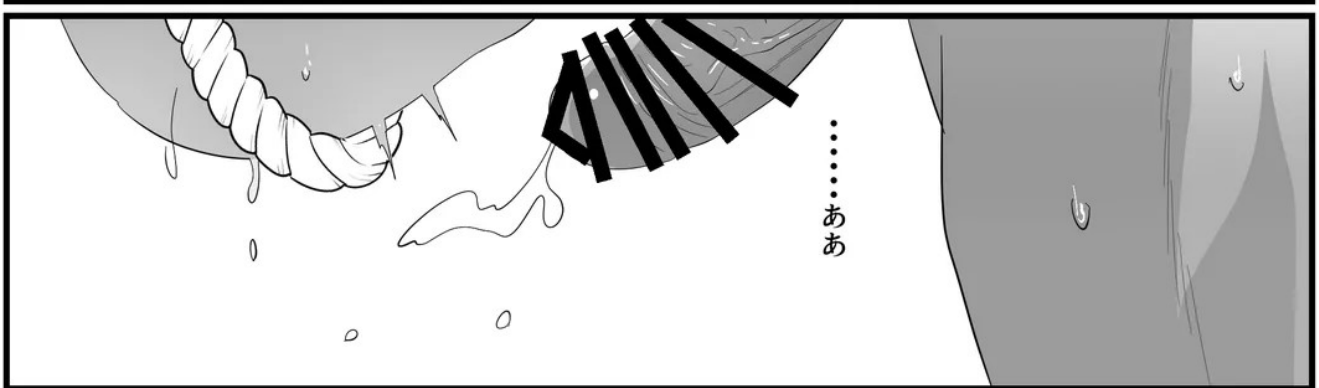


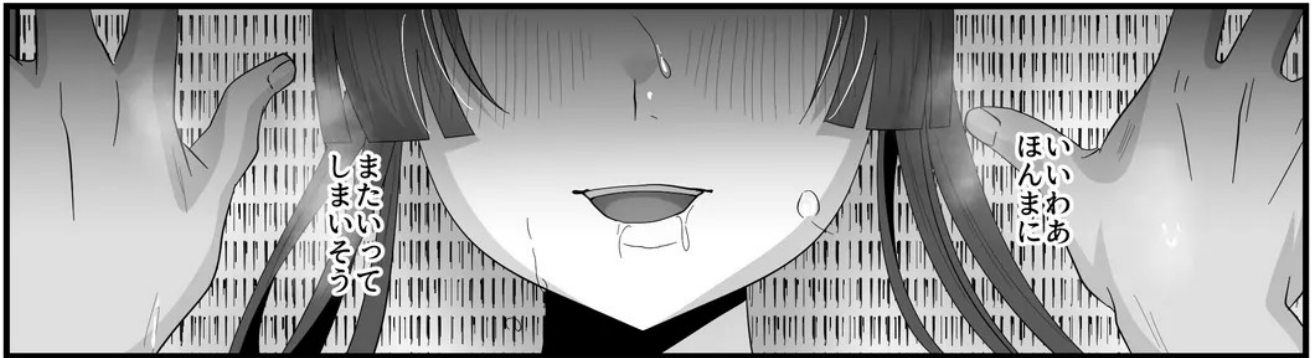
聞こえるかっ♡  
この音

ぐっぽぐっぽと  
出された精液が  
溢れとる♡

女の子だったら  
確実に妊娠  
してるなあ♡

孕まないなら  
何回でも射精して  
いいよな♡







この旅館の人らが好き  
お客様が好き  
人間が大好き！

人間ってのは何百年経つても変わらぬ愛しいもんや



お好きなところ  
ぎょうさん  
使って

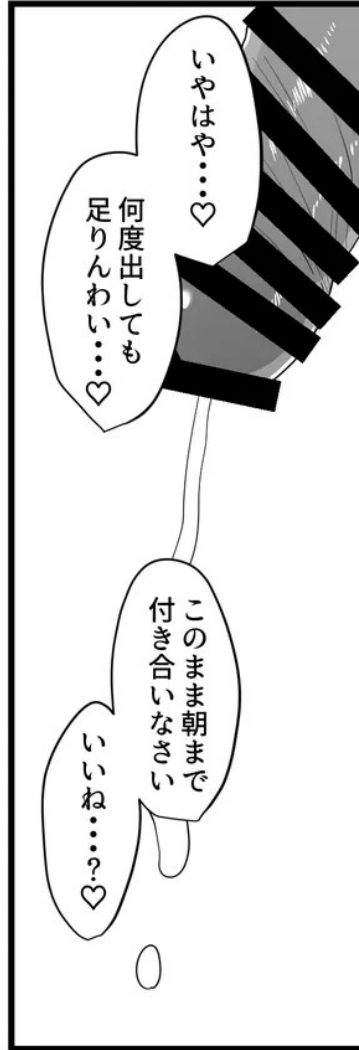
ぎょうさん愛でて  
くださいな……♡

こんなこと  
しなくたって  
この旅館は  
問題なく回る

俺らの  
頑張りなんて  
小さいもんや

延長ありがとうございます  
ございます……♡

皆様の気が  
済むまで……♡



いやはや……♡  
何度出しても  
足りんわい……♡

この井井朝まで  
付き合いなさるこ  
ころね……♡

こんな  
ただの  
お節介かも  
しれんけど

それでも  
この旅館の人らの  
役に立ちたいんや

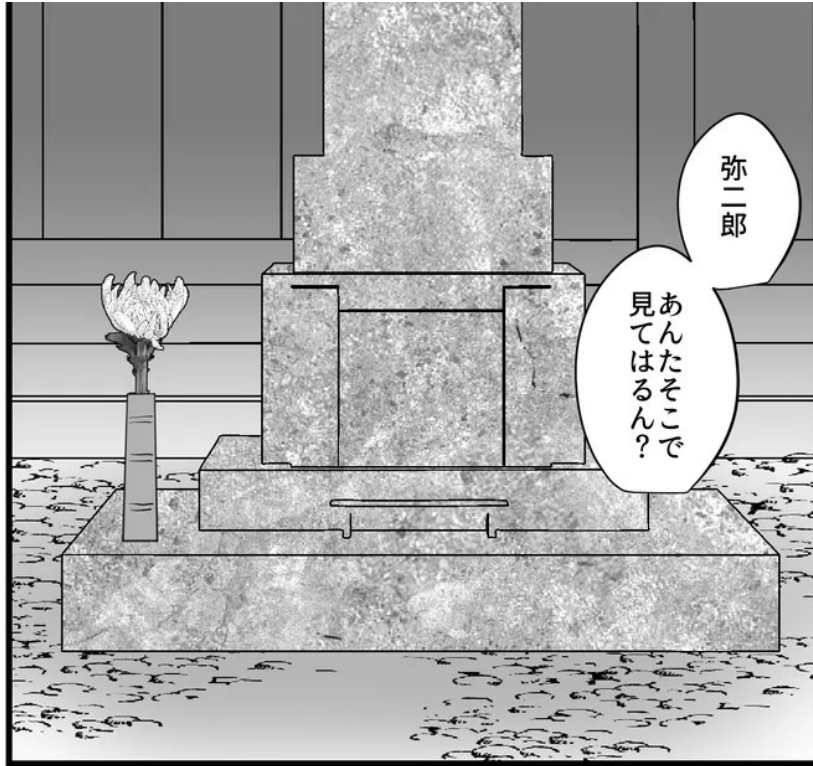
あなたに  
もらった恩を  
返しきるまではな

弥二郎……



弥二郎

あんたそこで  
見てはるん？

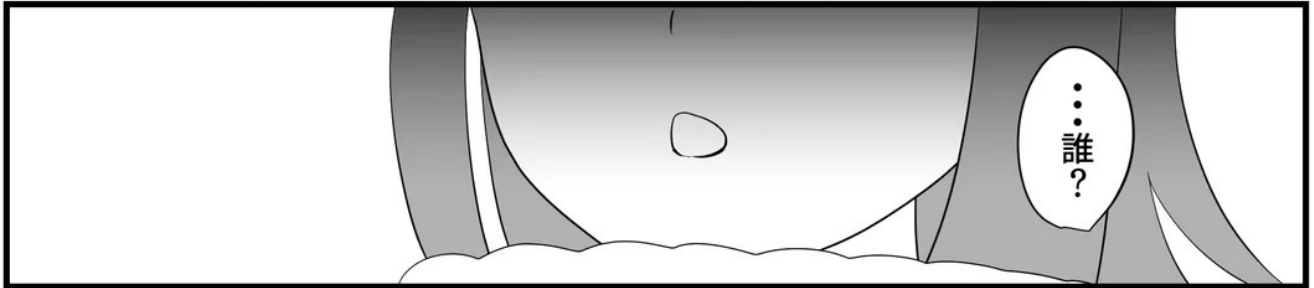


あんたが作った  
この宿は  
もうすつかり  
立派になった

もう俺らは  
くらいにな  
……



……誰？



ここ……  
うちのご先祖様  
のお墓なんですけど

それとも  
旅館にご用  
ですか？

えっと……  
何かご用  
ですか？



……ああ

ごめんな  
通りすがりや  
……





その指  
どうしたん

これ？

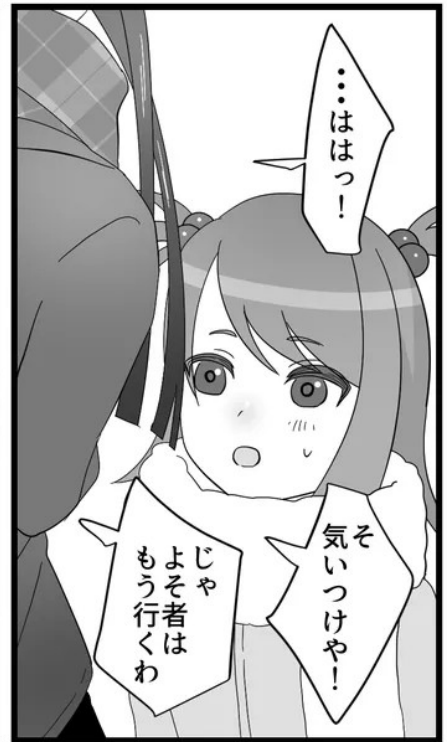
ばあちゃんに  
お野菜の切り方  
習ってたら  
切っちゃって…



その声…

夜中にたまに  
聞こえる声と  
そっくり！

お兄ちゃん…  
ずっと  
旅館に  
いるよね？



…ははっ！

そいつけや！

じゃ  
よそ者は  
もう行くわ



変だなんて  
思ってたの

ここには  
ばあちゃんしか  
働いてない  
はずなのに

時々私にだけ  
聞こえるの

二人の子の  
声…



そんな  
まるで

変なこと  
言わんで  
くれる？

そんな  
奇怪な  
あつたら  
たまらんわ

俺とその子が  
あやかしか  
なにか  
みたいやん



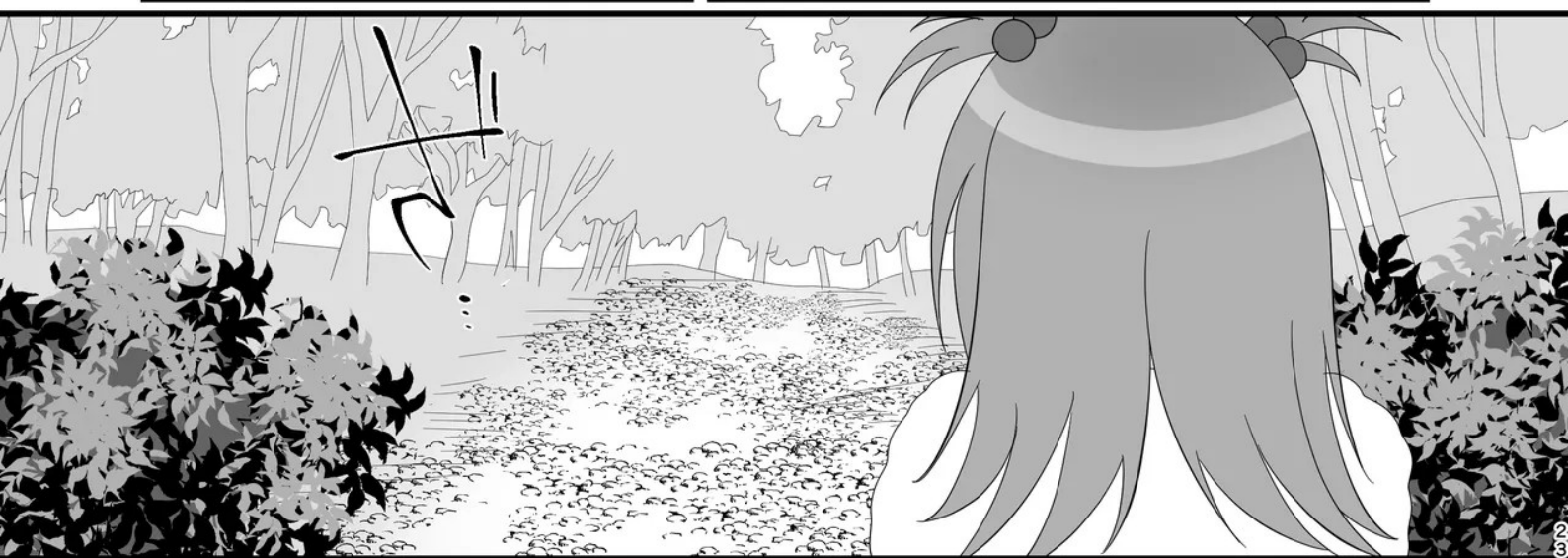
お兄ちゃ...

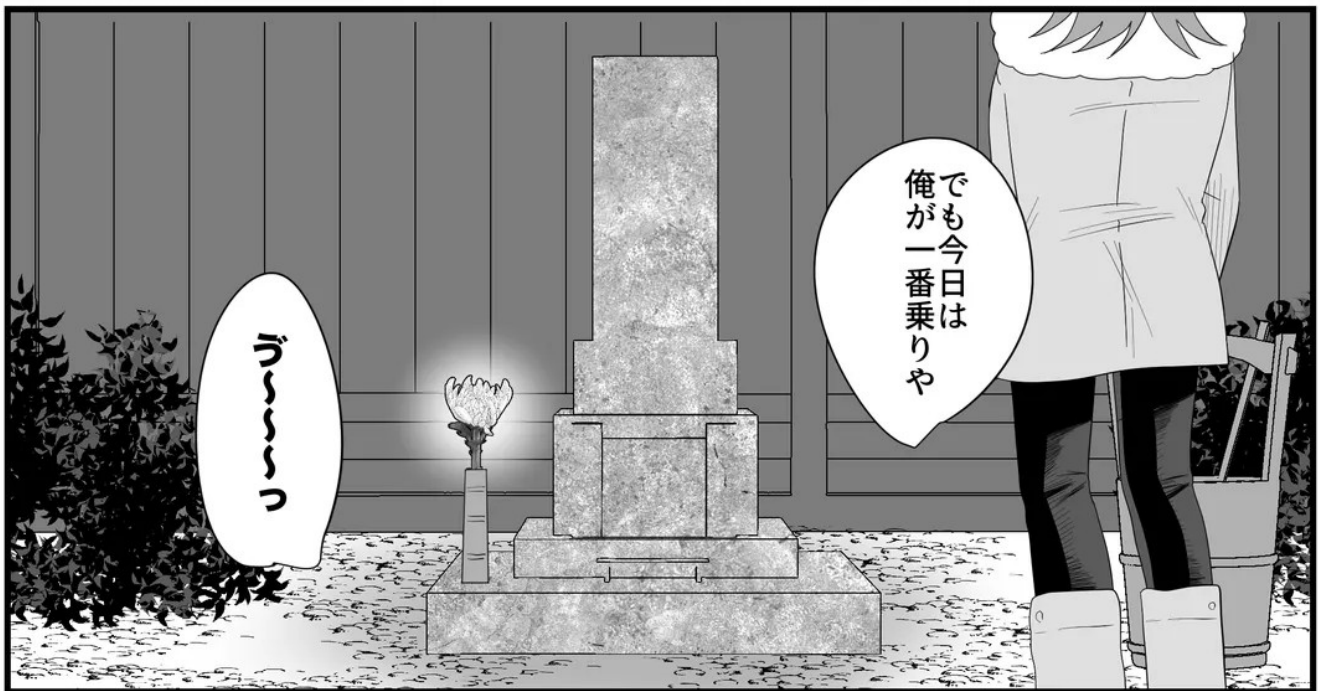
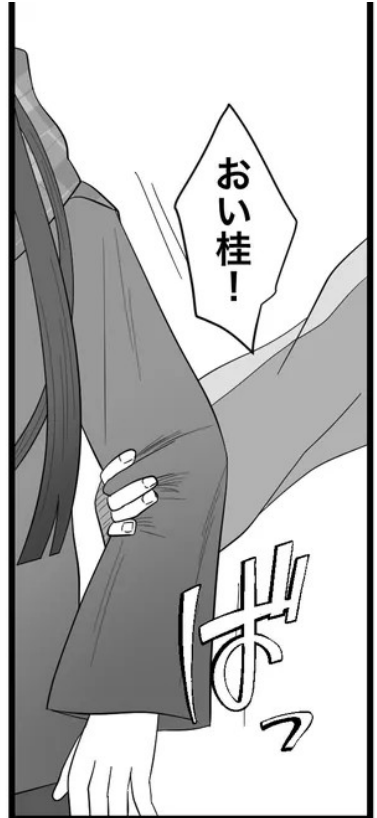


この旅館  
座敷童が  
いるって...

...前  
ばあちゃんが  
言ってた!

...!  
あやかし...







えっ  
それって  
つまり…

ばあちゃん  
直々に教える  
なんてな

後継者に  
するつもり  
満々やで  
あの子のこと



こたちゃん

この宿のことも  
心配せんでも  
ええみたいです

あの  
おチビちゃん  
料理教わってる  
らしいわ

!



…うんっ!



あやかし亭の  
未来のため  
みづちちゃんに  
もらわんと  
鍛えて

そのためにも  
俺らもつと  
頑張らなきゃ  
なあ



見た感じ相当の  
不器用さんみたい  
やけどな

でもばあちゃんも  
元はすごかったよね  
色んな意味で

ほんまになあ

弥二郎の子孫達は  
どいつもこいつも  
世話が焼けるわ

ねー



発行：inamics

発行者：伊奈見

連絡先：inamics.job@gmail.com

発行日：2024/011/17

印刷：株式会社栄光様

この本は個人によって制作された同人誌です。

特定の団体・人物とは一切関係ありません。

18歳以下の目に触れないところに保管してください。

ネットオークション・フリマアプリへの出品禁止。

webサイトへの転載禁止。



**Oidemase Ayakashi-tei 2**

**Presented by inamics  
2024.11.17 COMITIA150**

